

一般財団法人エンジニアリング協会

地下開発利用研究センター

〒105-0001 東京都港区虎ノ門 3-18-19
(虎ノ門マリビル 10 階)

TEL 03-5405-7203 (直通) / FAX 03-5405-8201

ホームページアドレス ; <http://www.ena.or.jp/GEC/>

E-mail アドレス ; gec-adm@ena.or.jp

第 272 号 / 2012. 5

Index

■平成 24 年度 地下開発利用研究センター
事業計画

■第 343 回 サロン・ド・エナ講演会 開催報告

■会員の皆様へのお知らせ

ビジネス講演会のお知らせ

■平成 24 年度 地下開発利用研究センター 事業計画■

I エンジニアリング及びエンジニアリング産業に 関する調査研究

(1) 自主事業

エンジニアリング及び同産業を取り巻く内外の諸環境の変化を的確に把握し、かつ、地下空間の開発利用に係る社会的潜在ニーズの調査、発掘、要素技術の開発動向の把握等を行い、ニーズに即した社会システム等を開発・提案し、賛助会員等のニーズに応えるために、以下の事業を実施する。

①「研究企画委員会」

共通基盤的課題に係る調査・研究・開発を推進するために、研究企画委員会および、その下部機関である研究企画ワーキンググループにおいて企画立案を行う。

当センターの取組む絞り込んだ複数の調査研究テーマについて、以下の研究会（研究企画 SWG を改称）において、具体的な検討を実施して補助・受託事業に提案する。

ア. 放射性廃棄物研究会

イ. エネルギー地下貯蔵研究会

ウ. CCS 関連研究会

エ. 発電所重要施設地下収納研究会

オ. 高温地熱・熱水活用研究会

②「地下利用推進部会」

経済産業活動の新生と都市競争力の再生

をめざして新たな地下利用の形態やニーズを把握し、調査研究活動のより一層の活性化を図るために、部会活動等により、地下空間の開発・利用に係る調査分析及び関連技術動向の把握等を行って、成果を社会へ提言する。

平成 24 年度は、社会の変革に伴う地下空間利用の形態や新たなニーズを探索し、参加企業の技術ポテンシャルの向上、当センターの調査・研究活動の一層の活性化を図ることを目的として、(財) JKA 補助事業の確保に努め、その補助の下に東日本大震災の復興および、首都圏直下型地震への対応に役立てることを目的として、「防災・減災に配慮した地下社会インフラ施設に関する調査研究」(新規)を、地下利用推進部会において、以下の 4 つの部会と各部会長・副部会長で編成する幹事会で実施する。

第 1 部会 東日本大震災における地下施設の被害と対策に関する調査研究

第 2 部会 大災害に対する都市内地下空間の有効活用に関する調査研究

第 3 部会 社会インフラ施設の防災・減災に向けた地下水利用に関する調査研究

第 4 部会 大深度地下道路網における災害時の機能・安全性に関する調査研究

③ 「ガイドブック編集委員会」

平成6年に刊行した「地下空間利用ガイドブック」について、平成21年度に20周年を迎えたことを契機に、「地下空間利用ガイドブック2012」(仮称)を年度内に発刊する。

平成24年度は、「ガイドブック研究会」を「ガイドブック編集委員会」と改称し、下部組織に複数の「執筆WG」を設けて本格的な執筆活動を実施する。

④ その他の調査研究

地下空間の開発利用に関する内外の動向について調査し、資料収集・分析等を行う。大深度地下開発、新エネルギー開発等に関する調査研究を実施する。

II エンジニアリングに関する研究開発

(1) 自主事業

- ① (財)JKA 補助事業など確保に努め、公共的かつ、先導的な個別課題等について、地下開発に関する新技術の研究開発を行う。

(2) 受託事業

新事業開拓プロジェクトチームと連携・協調し、公共機関・各種団体等からの研

究開発及びフェージビリティスタディ等への企画提案、公募に積極的に応募して、受託拡大に努める。

III エンジニアリングに関する普及啓発

(1) 自主事業

- ① 「地下情報化部会」の活動を通じ、地下情報データベースの整備と情報発信に継続して取り組む。
- ② ホームページの内容の充実と更新
- ③ GEC ニュースの発行
(毎月、メールマガジン配信)
- ④ 国内見学会、日帰り見学会の実施
- ⑤ エンジニアリングシンポジウム2012の開催 (本部と共同)
- ⑥ エンジニアリング功労者等の表彰
(本部と共同)
- ⑦ サロン・ド・エナおよび、ビジネス講演会等の開催 (本部と共同)
- ⑧ 研究成果発表会の開催 (本部と共同)
- ⑨ 機関誌の発行 (本部と共同)
- ⑩ 関係省庁等との連携の下に、行政情報の積極的な収集及び会員への有益な行政情報(新規施策、重要法改正等)の提供に努めるとともに、地下開発に関わるエンジニアリング関連団体との連携交流の促進を図る。

■第343回サロン・ド・エナ講演会 開催報告■

343回サロン・ド・エナ講演会は、「日本誘致へ大きく踏み出す～国際リニアコライダー (ILC) 計画～」と題し、講師に山下 了氏(東京大学 素粒子物理国際研究センター 准教授)をお招きして平成24年4月18日(水)15時30分から71名のご参加をいただき、満員の会場で開催いたしました。

内容は、まず「国際リニアコライダー (ILC) 計画」について、計画概要の説明から始められました。「地下に直線で約30～50kmのトンネルを構築して、その中で素粒子同士を光とほぼ同等のスピードで衝突させ未知の素粒子の解明に繋げる計画で、その事業規模は、約8,000億円にのぼ

ると言われています。これまでは、円形の加速器が用いられていましたが、粒子の進行方向を磁力で少しずつ変えなければならず、粒子が衝突する



講師近影

前に失われるエネルギーが大きいという欠点がありました。

そこで、エネルギーをほとんど失うことなく未知なる粒子の調査ができる大規模な直線形状の加速器が求められています。この直線加速器が完成すれば、世界中から数万人規模で研究者やメーカーが集まり、新たな国際科学都市が創出され、地域開発の活性化に繋がり、大きな経済効果が生まれてくることが期待されています。目指すところは、宇宙が始まってビックバンから数えて1兆分の1秒、宇宙が生まれてすぐのところでの、宇宙の成り立ち、物の成り立ち、究極の統一理論の解明を目指しています。

世界中での誘致候補地の中で日本は、2つの候補地が名乗りを挙げていますが、国際リニアコライダー（ILC）計画のロードマップでは、今年度中には構想を終え、世界に発信する予定であります。産業界や政界にも誘致の機運は、超党派の ILC 国際研究所建設推進議員連盟などの支援団体の組織的な誘致活動が活発化しており、平成 23 年 12 月 15 日（木）に開かれた誘致を推進する先端加速器科学技術推進協議会主催のシンポジウムで、出席された野田首相から、「国際的な枠組みでの取り組みが重要であり、世界の科学者がひとりひとりの課題を解決していくことに期待する。大きな予

算を必要とするので、国民からの理解と支持が重要となる。」とメッセージがあったとのこと。平成 23 年度の第 3 次補正予算に建設可能性調査費など予算が成立し、政・官・学に加え、自治体や社会が理解して、どこまで本気で力を合わせ計画を創り上げるかが最大の鍵であり、国民からの理解を深めることに傾注して周到な準備検討を行い、実現に向けて取り込んでいきたい。」と締めくくられ、ご講演を終わりました。

講演後の懇親会場では、講師は、沢山の方々に囲まれて和やかな歓談が進み、盛況のうちに散会となりました。



会場風景

■ 会員の皆様へのお知らせ ■

ロビジネス講演会のご案内

■ 第 12 回ビジネス講演会

日 時：平成 24 年 5 月 8 日（火）11:00～

（於：当協会 CDE 会議室）

講 師：茂木 正 氏

（経済産業省 資源エネルギー庁
省エネルギー対策課長）

テ ー マ：最近の省エネルギー政策の動向について

現在、経済産業省総合資源エネルギー調査会基本問題委員会では、エネ

ルギーのベストミックスが検討されておりますが、特にエネルギーの使用量の削減が、「エネルギーセキュリティ」、「地球温暖化対策」を重要項目として、本年 4 月に省エネ法の改正が行われております。

そこで、省エネルギー政策の最前線で活躍されておられます茂木課長から、省エネルギー政策について、「現状はどこまで進んでいるのか」「今後どのようなようになるのか」等その動向についてホ

トな話題についてご講演いただきます。

■第13回ビジネス講演会

日時：平成24年5月16日（水）11:00～
（於：当協会 CDE 会議室）

講師：福島 洋 氏
（経済産業省産業技術環境局
研究開発課長）

テーマ：新たな国家プロジェクトのあり方について

経済産業省にて、研究開発を発展させるための戦略リーダーである福島洋課長をお招きし、表題の「新たな国家プロジェクトのあり方について」をご講演いただきます。

本講演では、「国家プロジェクトの国際化推進」「公的研究機関のグローバル化：ワールドイノベーションセンター構想」「産学官のドリームチーム結成」「省庁間の連携」「中長期的な予算のコミットメント」等、従来の国家プロジェクトとは違う新たな構想を福島課長の生の声にてお話いただきます。

■第14回ビジネス講演会

日時：平成24年5月23日（火）11:00～
（於：当協会 CDE 会議室）

講師：前田 隆平 氏
（国土交通省 国際統括官）

テーマ：インフラ海外展開の取組み

「インフラの海外展開」は、現在の経済外交において、自由な貿易体制の確立、資源・エネルギー・食料の安全保障、観光立国の推進と並んで4本柱の一つとされています。かかる重要性を持った政策を推進するため、政府はJBICの融資範囲の拡大、JICAの海外投融資の再開など制度的な措置も講じています。インフラの海外展開は従来型のODAによる国際協力とは若干性

格を異にするものですが、日本の国際貢献の基本はODAであり、両者を有効に組み合わせながら施策を戦略的に実施していくことが重要です。国土交通省は広範囲のインフラを所管する官庁であり、インフラの海外展開にあたって重要な役割を果たしていますが、その推進に当たっては、種々の課題もあり、現在それらの課題の克服を図りつつ積極的な取り組みを行っているところです。今回は、これら全般について本講演にてお話させていただきます。

■第15回ビジネス講演会

日時：平成24年5月25日（金）11:00～
（於：当協会 CDE 会議室）

講師：村崎 勉 氏
（経済産業省 戦略輸出交渉官）

テーマ：ミャンマー・ティラワ経済特別区の開発について

4月21日にミャンマーのテイン・セイン大統領が来日され、野田首相との間で、日・ビルマ経済協力の大きな柱の一つとして、ヤンゴン近郊のティラワ経済特別区の開発計画を共同で策定することとなりましたが、この開発計画は、約2,400haの地域に、工業団地、商業施設、住宅などを整備する壮大な計画です。

今回の講演会は、この壮大なプロジェクトの「マスタープランの概要」「スケジュール」「日本企業への期待」などを交渉担当者である講師から直接お聞きします。

申込要領：下記の URL の[申込みフォーム](#)から申し込みください。

<http://www.ena.or.jp/>

お問い合わせ先：TEL 03-5405-7201

宮島敬子(新事業開拓プロジェクトチーム)